

編集後記

■2017年にリニューアルした東京メトロ日比谷線の上野駅。ホームに何本も並ぶ紫色の大きな柱は網目模様で、ムラサキヤマドリタケの柄にそっくりです。上野に行かれることがあれば、パンダのついでにでも見てみてください。(横) ■近くの公園の水たまりからヌマガエルのおタマジヤクシを採ってきました。このカエルはもともと暖地系ですが北上が著しく、関東地方で一強になりつつあります。オオシロカラカサタケの両棲類バージョンといえるかもしれません。(ま) ■昨年度は千葉菌に入会して以来、一番菌活をした一年だったと思います。今年も一年菌活動をしてより多くのキノコに親しめるように頑張りたいと思います。(井) ■編集はしていませんが、パソコン上のやりとりの側にいつもいます。編集のみなさま、今回もありがとうございます。●60歳で退職して、いろいろおもったのは、房総の動物や植物について、種類の目録やいろんな考察は、戦前戦後をとおして、山のように印刷物を中心に情報があるのですが、やはりきのこ情報はほとんどありません。ということで、この30年にあつめた情報を、ちゃんと利用できるかたちで、のこしておくと同時に、その解説のようなものを、この会報にも、できるだけ掲載していかないと、とおもっております(おもってるだけやろ!、といわれないようにしないと・・・)。(光) ■千葉菌は今年30周年を迎えます。在籍が古い方も新しい方もぜひ一度はご投稿ください。きのこにまつわる話ならなんでもよく、千葉以外の話題でも、ご親戚やご友人のお話でもかまいません。令和の時代となり、すでにほんのすこし前の昭和の記憶も薄れつつあります。大正や明治はなおさらです。自然とのつながりが深かった時代のきのこ狩りの思い出、食卓の懐かしい味、特定のきのこの呼び方など、古い記憶を教えてください。(公)

□本誌に加え、ホームページへのご意見や感想などもありましたらお聞かせください。またご要望も受け付けております。(事務局)

ISSN 1881-9230

千葉菌類談話会通信 36号

CHIBA MYCOLOGICAL CLUB BULLETIN NO. 36

2020年3月

発行 / 千葉菌類談話会

編集 / 千葉菌類談話会編集幹事

千葉菌類談話会 連絡先

〒260 - 8682 千葉市中央区青葉町9 5 5 - 2

千葉県立中央博物館 吹春気付

ホームページアドレス <http://chibakin.la.coocan.jp/>